

令和 3 年 6 月 15 日現在

機関番号：82640

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2017～2020

課題番号：17H02531

研究課題名(和文) 不確実性下の企業経営とパフォーマンス

研究課題名(英文) Economic Analysis on Uncertainty, Trade and Firms

研究代表者

張 紅詠 (Zhang, Hongyong)

独立行政法人経済産業研究所・研究グループ・上席研究員

研究者番号：80707878

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 11,300,000円

研究成果の概要(和文)：「企業の事業計画と予測に関する調査」2回(2017年と2020年)を実施し、日本経済・世界経済・経済政策などを巡る先行き不確実性、企業による将来予測(売上・GDP成長率)の主観的確率分布を独自に調査した。調査結果と新型コロナウイルスの感染拡大が企業の主観的不確実性に与えた影響に関する論文は、COVID-19を対象とするJapanese Economic Review特集号に収録されて2021年8月上旬に出版される予定である。さらに、これまでの4年間、不確実性・貿易投資と企業に関する研究成果は、合計論文11本、うち学術誌掲載2本と書籍に収録1本がある。

研究成果の学術的意義や社会的意義

近年、世界経済と日本経済の先行き不確実性が高まっている。経済の基調判断および見通しが不確実性に言及することは多いが、不確実性の計測は難しい。本研究では、企業が直面する不確実性を計測できないかという問題意識のもと、独自の企業調査を実施した。ショックが企業の将来見通しについてどのように影響を与えるか分析した結果、ショックに直面すると、企業の売上見通しが下方修正される前に、見通しの分散が上昇することが分かった。企業が悲観に振れる前に不確実性を認識するという結果は、本企業サーベイから得られた新しい知見であり、経済の現状および先行き見通しを担当する政策担当者にも有益なものと思われる。

研究成果の概要(英文)：With the financial support from JSPS, we conducted two waves of Business Plans and Expectations Survey (BPES) on Japanese firms in 2017 and 2020. We elicit five-bin subjective probability distributions about future sales to construct a measure of firms' expectations and uncertainty. With this measure, we investigate how business expectations and uncertainty changed after the initial outbreak of COVID-19 in China starting in January 2020. Our findings are summarized in RIETI discussion paper in October 2020 and the paper has been accepted for publication at the Japanese Economic Review special issue on Covid-19. In addition, during our project period, we have published 13 working papers and among which 5 papers are published at refereed journals.

研究分野：国際経済学 応用ミクロ計量経済学

キーワード：不確実性 貿易投資 企業 ミクロデータ

1. 研究開始当初の背景

企業の生産性を決定する重要な要因は何か。近年、企業の生産性を要因分解する方向で研究が進んでおり、特に経営管理の質に注目する研究が蓄積されてきた。企業サーベイ・インタビューを通じて経営管理の質をスコア化したもの(経営スコア)を用いた研究が進められてきている。企業生産性への理解を深めるためには、企業を取り巻くどのような環境が、経営管理の形態・質を左右するのか、我々の理解を進める必要がある。この点、申請者グループは、企業環境を取り巻く先行き不確実性が重要なのではないかと仮説を立て議論を続けてきた。先行き見通しが不確実である程、変わりゆく事業環境に迅速に対応する経営意思決定の仕組み、組織形態が求められ、経営管理の質が色濃く生産性、パフォーマンスに影響を及ぼすのではないかとのことである。

不確実性を計測するために、株式リターンの分散、売上高や生産性の分散や予測誤差など、様々な指標が使用されてきた。こうした指標が万能でないというのは、例えば事後的な予測誤差には、予測時点での将来予測の不確実性以上の要因が含まれる可能性がある一方で、予測時点での不確実性が大きいにも関わらず、実績値が予測中心の近くに着地する可能性もある。従って、この分野では自社商品売上予測の確率分布情報、企業予測の90%信頼区間に関する情報といった、予測のバラつき情報を事前的に調査したものが望ましいとされている。

さらに、企業の国際化が進む中、企業行動とパフォーマンスが国内の経済情勢と経済政策だけでなく、外国政府の経済政策や海外市場の不確実性にも大きく影響される。

2. 研究の目的

(1)本研究は、不確実性に焦点を当て、最新の方法で企業の主観的不確実性指標を構築し、企業レベルのデータを用いた実証分析から、事業環境を巡る先行き不確実性が、どのように企業の投資計画、雇用、輸出などの企業行動に影響するか明らかにすることで、企業行動への理解をさらに進めることを目的とする。特に、新たな企業サーベイを通じて、企業による予測(GDP 成長率、為替レート、自社売上高、輸出等)の主観的確率分布を調査。分布情報(分散や四分位範囲)を用いて不確実性指標を構築し、それと投資計画などの企業行動との関係を実証的に明らかにする。

(2)主要国(米、中、日、欧州など)における経済政策・通商政策の変化及びそれに伴う不確実性が貿易投資・企業行動に与える影響を分析するとともに、その背後にあった主要国における構造変化と貿易自由化の影響を中長期的な視点から解明することも目的とする。景気判断、海外市場での売上高の予測情報の入っている政府統計も利用し、不確実性と企業の価格設定、海外市場の不確実性と貿易・海外進出の関係について分析を行う。

3. 研究の方法

(1)「企業の事業計画と予測に関する調査」2回を実施し、日本経済・世界経済・経済政策・通商政策などを巡る先行き不確実性、企業による将来予測(売上・GDP 成長率等)の主観的確率分布を独自に調査した。具体的には、マクロ経済の先行き、および企業自身の経営環境の先行きについて5つのシナリオを尋ねて、各シナリオについて想定確率も尋ねるという設計を施した。得られた約4,000社の回答から将来の見通しの分散を算出し、企業の主観

的不確実性指標を構築できた。

1 回目の調査：2017 年 10 月～11 月、平成 29 年度「企業の事業計画と予測に関する調査」を実施。

https://www.rieti.go.jp/jp/projects/research_activity/business-outlook/

2 回目の調査：2020 年 1 月～2 月、2019 年度「企業の事業計画と予測に関する調査」を実施。

https://www.rieti.go.jp/jp/projects/research_activity/business-outlook2019/

(2) 独自の企業サーベイのほかに、複数の政府統計を申請利用し、企業レベルの不確実性を考慮した理論モデルを構築しながら、パネルデータを用いた実証分析を行った。

4. 研究成果

不確実性・貿易投資と企業に関する研究成果は、合計学術論文 11 本、うち、査読付き英文学術誌掲載 2 本、書籍に収録 1 本などがある。

(1) 「企業の事業計画と予測に関する調査」2 回の調査結果、新型コロナウイルスの感染拡大が企業の主観的不確実性に与えた影響に関する分析結果は、Chen, Senga, and Zhang (2020) Measuring Business-Level Expectations and Uncertainty: Survey Evidence and the COVID-19 Pandemic, RIETI Discussion Paper, 20-E-081 として 2020 年 10 月に発表した。同論文は COVID-19 を対象とする Japanese Economic Review 特集号に収録されて 2021 年 8 月上旬 (JER 2021 No.3) に出版される予定。

また、調査結果に基づいて記事とコラムも執筆した。「企業行動は変えられるか 先行き懸念強く 慎重姿勢」、2018 年 3 月 8 日 日本経済新聞「経済教室」に掲載。「TPP への期待と政策課題」RIETI コラム 2018 年 3 月 8 日に掲載。

(2) 新型コロナウイルスの感染拡大が日本企業の海外生産と先行き見通しに与える影響について分析した Zhang (2021) The Impact of COVID-19 on Global Production Networks: Evidence from Japanese Multinational Firms, RIETI Discussion Paper, 21-E-014 は、Centre for Economic Policy Research (CEPR) が編集している Covid Economics, March 2021, Issue 72, 26-67. に収録された。

(3) 不確実性と企業行動については、Chen, Senga, Sun, and Zhang (2018) Uncertainty, Imperfect Information, and Expectation Formation over the Firm's Life Cycle, RIETI Discussion Paper, 18-E-010 は、企業のライフサイクルに着目して海外市場の不確実性と輸出・海外生産との関係について分析を行った。それに関連して、Chen, Sun, and Zhang (2019) Learning and Information Transmission within Multinational Corporations, RIETI Discussion Paper, 19-E-053 (R&R at European Economic Review) は、海外市場の不確実性に関する多国籍企業内の学習効果と市場参入について分析した。

さらに、Chen, Senga, Sun, and Zhang (2018) Expectation Formation and Firm Activities: New Evidence from a Business Outlook Survey in Japan, RIETI Discussion Paper, 18-E-059、及び Chen, Senga, Sun, and Zhang (2020) Information Acquisition and Price Setting under Uncertainty: New Survey Evidence, RIETI Discussion Paper, 20-E-078. は、不確実性と企業の投資・雇用計画、不確実性と価格設定についてそれぞれ分析した。

(4) 為替レートの不確実性とサプライチェーンを通じたショックの波及効果については、Li, Wei, and Zhang (2018) *Production Chains, Exchange Rate Shocks and Firm Performance*, RIETI Discussion Paper, 18-E-058.は、各企業の上流度と為替レートのエクスポージャーを計測し、為替レート・ショックが取引関係を通じて輸出入企業から間接輸出入企業へと波及するメカニズムを分析した。

(5) 米中貿易摩擦とそれに伴う不確実性の増大が日本企業への影響については、Sun, Tao, Yuan, and Zhang (2019) *The Impact of the US-China Trade War on Japanese Multinational Corporations*, RIETI Discussion Paper, 19-E-050.は、米中貿易摩擦が在中現地法人と日本の親会社のパフォーマンスに与える影響を中心に分析を行った。

また、貿易摩擦と地政学的リスクの不確実性と日本企業のサプライチェーンへのインプリケーションについて分析した Zhang (2020) *The US-China Trade War: Implications for Japan 's Global Value Chains*”, Chapter 3, *Geopolitics, Supply Chains, and International Relations in East Asia*, Etel Solingen (eds.), Cambridge University Press.は、2021年6月に出版した。

(6) 日本企業の海外生産ネットワークと参入退出については、Spinelli, Rouzet, and Zhang (2020) *Networks of Foreign Affiliates: Evidence from Japanese Micro-Data*, *The World Economy*, Vol. 43, 1841-1867.は、OECDのエコノミストと共同研究を行った。

中国市場の不確実性と日系企業の撤退行動については、Luo, Si, and Zhang (2020) *Moving Out of China? Evidence from Japanese Multinational Firms*, RIETI Discussion Paper, 20-E-077. (R&R at Economic Modelling)は、中国復旦大学と共同研究を行っている。

(7) 上記の科研費と経済産業研究所の支援を受け、2018年4月に経済産業研究所にて国際ワークショップ *Uncertainty, Trade and Firms* を開催し、世界トップクラスの研究者たち(Nicholas BLOOM, Stanford University; Steven DAVIS, University of Chicago; Kyle HANDLEY, University of Michigan)を招へいし、科研費プロジェクトの研究成果を発表し、有益なアドバイスを頂いた。また、本研究チームは、American Economic Association の ASSA Annual Meeting をはじめ国内外計数十回の学会・セミナー・ワークショップで研究報告をした。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計22件（うち査読付論文 8件 / うち国際共著 14件 / うちオープンアクセス 17件）

1. 著者名 CHEN Cheng, SENGATAtsuro, ZHANG Hongyong	4. 巻 3
2. 論文標題 Measuring Business-Level Expectations and Uncertainty: Survey Evidence and the COVID-19 Pandemic	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Japanese Economic Review	6. 最初と最後の頁 未定
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 ZHANG Hongyong	4. 巻 21-E-014
2. 論文標題 The Impact of COVID-19 on Global Production Networks: Evidence from Japanese Multinational Firms	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 RIETI Discussion Paper Series	6. 最初と最後の頁 1-43
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 ZHANG Hongyong	4. 巻 72
2. 論文標題 The Impact of COVID-19 on Global Production Networks: Evidence from Japanese Multinational Firms	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Covid Economics	6. 最初と最後の頁 26-67
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 CHEN Cheng, SENGATAtsuro, SUN Chang, ZHANG Hongyong	4. 巻 20-E-078
2. 論文標題 Information Acquisition and Price Setting under Uncertainty: New Survey Evidence	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 RIETI Discussion Paper Series	6. 最初と最後の頁 1-52
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 Changyuan LUO, Chunxiao SI, Hongyong ZHANG	4. 巻 20-E-077
2. 論文標題 Moving Out of China? Evidence from Japanese Multinational Firms	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 RIETI Discussion Paper Series	6. 最初と最後の頁 1-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 CHEN Cheng, SENGATA Tatsuhiro, ZHANG Hongyong	4. 巻 20-E-081
2. 論文標題 Measuring Business-Level Expectations and Uncertainty: Survey Evidence and the COVID-19 Pandemic	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 RIETI Discussion Paper Series	6. 最初と最後の頁 1-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Francesca Spinelli, Dorothee Rouzet, Hongyong Zhang	4. 巻 43
2. 論文標題 Networks of Foreign Affiliates: Evidence from Japanese Micro-Data	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The World Economy	6. 最初と最後の頁 1841-1867
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/twec.12963	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 SUN Chang, TAO Zhigang, YUAN Hongjie, ZHANG Hongyong	4. 巻 19-E-050
2. 論文標題 The Impact of the US-China Trade War on Japanese Multinational Corporations	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 RIETI Discussion Paper Series	6. 最初と最後の頁 1-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 CHEN Cheng, SUN Chang, ZHANG Hongyong	4. 巻 19-E-053
2. 論文標題 Learning from Siblings within Multinational Firms	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 RIETI Discussion Paper Series	6. 最初と最後の頁 1-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 CHEN Cheng, SENGA Tatsuro, SUN Chang, ZHANG Hongyong	4. 巻 18-E-059
2. 論文標題 Expectation Formation and Firm Activities: New Evidence from a Business Outlook Survey in Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 RIETI Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 1-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 ZHANG Hongyong	4. 巻 42
2. 論文標題 Understanding the International Mobility of Chinese Temporary Workers	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The World Economy	6. 最初と最後の頁 738-758
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/twec.12733	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ZHANG Hongyong	4. 巻 50
2. 論文標題 Political Connections and Antidumping Investigations: Evidence from China	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 China Economic Review	6. 最初と最後の頁 34-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.chieco.2018.03.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 LI Zhigang, WEI Shang-Jin, ZHANG Hongyong	4. 巻 18-E-058
2. 論文標題 Production Chains, Exchange Rate Shocks and Firm Performance	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 RIETI Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 1-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 JO Hwan, SENGA Tatsuro	4. 巻 32
2. 論文標題 Aggregate Consequences of Credit Subsidy Policies: Firm Dynamics and Misallocation	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Review of Economic Dynamics	6. 最初と最後の頁 68-93
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.red.2019.01.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 SENGA Tatsuro	4. 巻 763
2. 論文標題 A New Look at Uncertainty Shocks: Imperfect Information and Misallocation	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Working Papers 763, Queen Mary University of London, School of Economics and Finance	6. 最初と最後の頁 1-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 CHEN Cheng, SENGA Tatsuro, SUN Chang, ZHANG Hongyong	4. 巻 18-E-010
2. 論文標題 Uncertainty, Imperfect Information, and Learning in the International Market	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 RIETI Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 1-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 千賀達朗	4. 巻 日刊
2. 論文標題 企業行動は変えられるか 先行き懸念強く 慎重姿勢	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本経済新聞「経済教室」	6. 最初と最後の頁 31 - 31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計34件 (うち招待講演 15件 / うち国際学会 22件)

1. 発表者名 張紅詠
2. 発表標題 Moving Out of China? Evidence from Japanese Multinational Firms
3. 学会等名 Workshop on Trade and Development, Kobe University (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Cheng Chen, Tatsuro Senga, Chang Sun, Hongyong Zhang
2. 発表標題 Uncertainty, Imperfect Information, and Expectation Formation over the Firm's Life Cycle
3. 学会等名 ASSA Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 張紅詠
2. 発表標題 The Impact of the US-China Trade War on Japanese Multinational Corporations
3. 学会等名 日本国際経済学会第78回全国大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 張紅詠
2. 発表標題 The Impact of the US-China Trade War on Japanese Multinational Corporations
3. 学会等名 2020 International Workshop on Trade and Firm Networks -The 7th Tokyo Trade and Network Workshp (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 張紅詠
2. 発表標題 The US-China Trade War: Implications for Japan's Global Value Chains
3. 学会等名 Workshop on "Geo-Economic and Geostrategic Dimensions of Great Power Competition in the 21st Century" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 張紅詠
2. 発表標題 The Impact of the US-China Trade War on Japanese Multinational Corporations
3. 学会等名 Open Economy & International Economics Seminar (Fudan University) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 張紅詠
2. 発表標題 The Impact of the US-China Trade War on Japanese Multinational Corporations
3. 学会等名 The Economic Consequences of Trade, Finance and FDI Conference (Peking University) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 張紅詠
2. 発表標題 Learning from Siblings within Multinational Firms
3. 学会等名 Western Economic Association International 94th Annual Conference (San Francisco) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Chang SUN
2. 発表標題 Learning from Siblings within Multinational Firms
3. 学会等名 American Economic Association Annual Conference (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Chang SUN
2. 発表標題 Learning from Siblings within Multinational Firms
3. 学会等名 Asia Pacific Trade Seminars (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Cheng CHEN
2. 発表標題 Learning from Siblings within Multinational Firms
3. 学会等名 Midwest International Trade Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 張紅詠
2. 発表標題 Production Chains, Exchange Rate Shocks, and Firm Performance
3. 学会等名 Workshop on Exchange Rate, Capital Flows & Trade Flows (國際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 CHEN Cheng
2. 発表標題 Business Plans and Expectations Survey: Results from Japan
3. 学会等名 Conference on Uncertainty and Economic Activity: Measurement, Facts and Fiction 2018 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 CHEN Cheng
2. 発表標題 Uncertainty, Imperfect Information, and Learning in the International Market
3. 学会等名 NBER Summer Institute (招待講演) (國際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 CHEN Cheng
2. 発表標題 Uncertainty, Imperfect Information, and Learning in the International Market
3. 学会等名 Asia Pacific Trade Seminars Annual Conference (國際学会)
4. 発表年 2018年

1 . 発表者名 CHEN Cheng
2 . 発表標題 Uncertainty, Imperfect Information, and Learning in the International Market
3 . 学会等名 Econometric Society China Meeting (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 CHEN Cheng
2 . 発表標題 Uncertainty, Imperfect Information, and Learning in the International Market
3 . 学会等名 Barcelona GSE summer forum (国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 ZHANG Hongyong
2 . 発表標題 Production Chains, Exchange Rate Shocks and Firm Performance
3 . 学会等名 Asia Global Workshop 2018, Economics of Globalization (招待講演)
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 ZHANG Hongyong
2 . 発表標題 Production Chains, Exchange Rate Shocks and Firm Performance
3 . 学会等名 China-Japan Youth Conference on Trade, Exchange Rate and Labor (招待講演)
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名 ZHANG Hongyong
2. 発表標題 Firm Expectations and Investment: Evidence from the China-Japan Island Dispute
3. 学会等名 European Trade Study Group Annual Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 ZHANG Hongyong
2. 発表標題 Firm Expectations and Investment: Evidence from the China-Japan Island Dispute
3. 学会等名 Asia Pacific Trade Seminars Annual Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 ZHANG Hongyong
2. 発表標題 Firm Expectations and Investment: Evidence from the China-Japan Island Dispute
3. 学会等名 International Workshop on the World and Asian Economy-The 5th Tokyo Network Workshop- (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 SENGA Tatsuro
2. 発表標題 Business Plans and Expectations Survey: Results from Japan
3. 学会等名 RIETI International Workshop: Uncertainty, Trade and Firms (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 SENGA Tatsuro
2. 発表標題 Uncertainty, Imperfect Information, and Learning in the International Market
3. 学会等名 Bristol Macro Workshop (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 SENGA Tatsuro
2. 発表標題 Uncertainty, Imperfect Information, and Learning in the International Market
3. 学会等名 Stanford Institute for Theoretical Economics (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 SENGA Tatsuro
2. 発表標題 Uncertainty, Imperfect Information, and Learning in the International Market
3. 学会等名 Yale University Seminars (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 SENGA Tatsuro
2. 発表標題 Uncertainty, Imperfect Information, and Learning in the International Market
3. 学会等名 University of Cambridge Seminars (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 CHEN Cheng
2. 発表標題 Uncertainty, Imperfect Information, and Learning in the International Market
3. 学会等名 University of Tokyo Seminars (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 ZHANG Hongyong
2. 発表標題 Production Chains, Exchange Rate Shocks and Firm Performance
3. 学会等名 Comparative Analysis of Enterprise Data Conference、ソウル(韓国)(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 SENGA Tatsuro
2. 発表標題 Uncertainty, Imperfect Information, and Learning in the International Market
3. 学会等名 CESifo/Ifo Conference on Macroeconomics and Survey Data 2017、ミュンヘン(ドイツ)(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 CHEN Cheng
2. 発表標題 Uncertainty, Imperfect Information, and Learning in the International Market
3. 学会等名 Queen Mary University of London、ロンドン(英国)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 ZHANG Hongyong
2. 発表標題 Firm Expectations and Investment: Evidence from the China-Japan Island Dispute
3. 学会等名 Fudan University、上海（中国）（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 CHEN Cheng g
2. 発表標題 Uncertainty, Imperfect Information, and Learning in the International Market
3. 学会等名 Midwest International Trade Meeting、ダラス（米国）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 CHEN Cheng
2. 発表標題 Firm Expectations and Investment: Evidence from the China-Japan Island Dispute
3. 学会等名 Econometric Society Asian Meeting、香港（国際学会）
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 Hongyong Zhang, in Etel Solingen (Eds.)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Cambridge University Press	5. 総ページ数 41-59, 1-300
3. 書名 “ The US-China Trade War: Implications for Japan 's Global Value Chains ”, Geopolitics, Supply Chains, and International Relations in East Asia	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>経済産業研究所 Hongyong Zhang研究室ホームページ https://www.rieti.go.jp/users/zhang-hong-yong/</p> <p>Queen Mary University of London Tatsuro Senga研究室ホームページ http://tatsuro-senga.net/index.html</p> <p>Clemson大学Cheng Chen研究室ホームページ https://sites.google.com/view/chengchenwebpage/research?authuser=0</p> <p>香港大学Chang Sun研究室 https://pweb.fbe.hku.hk/~sunc/research.html</p>
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	千賀 達朗 (Tatsuro Senga) (80795237)	慶應義塾大学・経済学部・准教授 (32612)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	陳 誠 (Chen Cheng)	John E. Walker Department of Economics, Clemson University・Assistant Professor	
研究協力者	孫 昶 (Sun Chang)	HKU Business School, The University of Hong Kong・Assistant Professor	
研究協力者	森川 正之 (Morikawa Masayuki) (70272284)	独立行政法人経済産業研究所・所長・所長 (82640)	
研究協力者	ブルーム ニコラス (Bloom Nicholas)	Department of Economics, Stanford University・William D. Eberle Professor of Economics	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

国際研究集会 RIETI International Workshop: Uncertainty, Trade and Firms	開催年 2018年～2018年
--	--------------------

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
英国	Queen Mary University of London			
米国	Clemson University	Columbia University		
中国	The University of Hong Kong	Fudan University		
フランス	OECD			